

人類働態学会 21期 第1回理事会

日時：2010年8月13日（金） 18:00～20:30

場所：大妻女子大学「生活科学資料館」（図書館棟B1）

出席：榎原 毅、岡田 明、小木和孝、酒井一博、申 紅仙、鈴木一弥、瀬尾尚聡、高橋悦子、橋本修左、長谷川徹也、平野和彦、堀野定雄、真家和生、松村秋芳、水野基樹、水野有希

配布資料： 資料1 21期第1回理事会次第 資料5 学会運営に関する行動計画
資料2 21期理事会名簿 資料6 JHE Vol.39 コンテンツ
資料3 交通費支払補助について 資料7 IEA Newsletter 2月号
資料4 21期第11回理事会議事録 資料8 IEA Newsletter 5月号

会員動向（下記を含め217名）

<退会>

長沼敦昌(山形義肢研究所)、財団法人神奈川県予防医学協会、梶原一騎(株式会社トーエネック)

<入会>

植田知明(本田技研工業株式会社)

議事次第

●審議事項

1. 21期担当および役割について

- ・各担当および役割について会長から説明があり、理事会の承認を得た。新しい担当として、全国大会・夏季研究会窓口、次世代、自己評価など。
- ・幹事は担当理事が任命し理事会で報告・承認する形式をとり、幹事の任期は理事の任期と同じとする。なお、次世代担当が候補者をリストアップし、理事に展開する予定。
- ・複数人担当は、国際交流が城理事、研究推進が植竹理事をチーフとする。

2. 共生シンポ、東日本地方会

- ・開催日程を、11月13日（土）、14日（日）に変更した。近日中にHPに詳細をアップする予定。

3. 第46回大会

- ・広島文教大学の宇土博さんが大会長として、6月4日（土）、5日（日）に実施することが確定。夏季研究会は、大会の初日に組込むことを検討中。
- ・大会サポートについて、事務局長から打診を検討。

4. 人間工学チェックポイント作成

- ・働態学会が「ヒューマンケアサービスの人間工学チェックポイント」作成に取り組むことで合意。
- ・真家会長からIEA会長へ、プロジェクトとして実行することを推進する。文案は国際交流担当が作成・支援する。
- ・内容は介護、看護、医療事故、医療安全などを中心に、担当は高橋理事としてプロジェクトチームを構成する。加えて、若手育成の行動計画と同機させ、科研費の申請も発行・ワークショップの実施を目指す。

5. 若手育成の具体的手段

- ・水野基樹理事が行動計画①～⑤の担当者候補を選出することで合意。
- ・行動計画①の科研費申請は2件程度を考え、「人間工学チェックポイント作成」（高橋理事がチーフ）と研究推進でテーマを挙げ、申請を進める。

6. 財務状況（未納者対応、交通費、大会補助、印刷部数など）

- ・現在の財務状況を事務局長より説明。
- ・次回理事会にて、竹内理事より財務分析内容および改善案の提示を要求。

7. その他

1) 合同シンポジウム開催について（真家会長から）

- ・生理人類学会と合同でシンポジウムを開催することを提案。生理人類学会の理事会では承認済み。
- ・開催日程としては、2011年の6月（九州）か、秋（関西）を検討。

2) 働態研究の方法の英文原稿について（小木理事から）

- ・働態研究の英訳をJHE（field report）に掲載することを提案し、承認を得た。
- ・JHEには現在「original」と「communication」があるが、「review」や「field report」を加えることも検討。

●報告

各担当よりの報告

JHE

- ・組織、体制についての検討状況を報告。
- ・Vol. 39, No. 1のコンテンツは完成し、印刷に入る予定。

広報

- ・HPの更新。理事一覧、会長挨拶、地方会の案内などの更新が急務。

国際交流

- ・近況報告（IEA Newsletter 2・5月号）および今後の活動予定の紹介

次回の理事会は、後日メールにて連絡

以上